

問 東電への賠償請求額と支払いは

答 請求 1.3 億、支払い 1,700 万円



みすずの会
阿部 功志 議員

問 福島原発事故による東電への損害賠償請求額と実際に本村に支払われた額はいくらか。東電は原電の債務保証をすると言いつつ出た。もし東海第二原発事故が起きたら原電も東電も賠償ができず、私たち被害者の税金の投入になる。

答 福島第一原発事故に伴う損害賠償請求額は、本村としては東京電力に対して、平成23年度から29年度までの7年度間に総額1億3,391万9,567円の請求を行い、このうち、支払いを受けた額は1,699万1,988円

平成年度	請求額 (円)	支払いを受けた額 (円)	%
23	15,387,540	13,740,810	89.3
24	6,060,653	2,577,348	42.5
25	47,566,473	78,750	0.17
26	36,323,927	162,000	0.45
27	2,230,193	145,800	6.5
28	26,350,781	287,280	1.1
合計	133,919,567	16,991,988	12.7

本村が東電から支払われた損害賠償額
(執行部の資料から作成)

である。今後のこの支払いの見通しだが、同社では、「原子力損害の賠償に関する法律」(原賠法)第18条の規定を受けて設置された「原子力損害賠償紛争審査会」が定める「原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針」に基づき、賠償の対象とする損害項目を個々に確認することになるので、速やかな対応を求めるとも、現在行っている給食食材の放射能測定に関する食材購入費などについては、引き続き請求していきたい。

問 胃がん対策 ピロリ菌検診を求める

答 先進地を調査し総合的に検討する



公明党
岡崎 悟 議員

問 胃がんのほとんどは、ピロリ菌感染による胃炎が原因で、ピロリ菌を除菌すれば、胃がんの発生を抑制することが可能である。ピロリ菌感染は、幼児期までの感染が多く、長い時間をかけて徐々に胃を荒らし、胃炎や胃がんを引き起こすことから、早期発見と治療が必要である。正しい知識の普及が進む中で、特定検診などにピロリ菌検診を加える自治体が増えてきている。水戸市は中学2年生を対象にピロリ菌検査を実施している。また、常陸太田市では、総合検診の中に導入して

いる。本村でもピロリ菌検診を導入すべきと考えますが、考えを伺う。

答 平成29年度までに、ピロリ菌検査を導入しているのは、全国158の自治体で、導入率は9.1%である。胃がんになった日本人の多くからピロリ菌が発見されている現状から、特定検診での導入と中学生対象のピロリ菌検査は、陽性時のフォローアップを含めて、先進自治体の状況を調査し、総合的に検討しなければならぬと考えている。



胃がん検診の推進を